

原子力産業会議設立の提唱

原子力委員会委員長 正力 松太郎

原子力平和利用の実現を目的とし、原子力基本法に基づいて政府は原子力委員会を中心
にわが国原子力平和利用の歩むべき基本方向、開発のための諸方策等について具体的
検討を開始した。検討を進めるに従い益々その開発の緊要性を痛感するに至った。
特にわが国エネルギー資源の現状を見ると、その主要エネルギー源である石炭、
水力等は資源的にも経済的にも次第に需要に追いつかなくなりつつあり、わが国経済
発展の将来性についても危惧されている。従って原子力発電を一日も速かに実現する
ことが急務と考えられる。

更に原子力のエネルギーへの利用は、その一面にすぎず、アイソトープの利用は、
医療、農業、工業等の各方面にわたる改善、発展に偉大な貢献をもたらすもの
である。

私は原子力平和利用の実現を一日も早く期待するもの以上の如き理由によるもので
ある。

併しながらこのように原子力平和利用の実現のためには、広く各界にわたる協力が
必要であり、いわば国民的協力を理解の上から始めてその成果が期待できるものであ
る。特に原子力産業は、関連産業の総合の上から成り立ついはば総合産業であり、こ
れら関連産業の緊密な協調連携によりその発展が期待されるものである。他方原子力産
業の確立とその進展により関連産業については産業全般が、その技術水準を向上し得る
ものと確信している。

私は、このような考えから、既に外国にもその例が見られるように原子力産業会議
の設立を提唱するものである。

原子力産業会議は、原子力開発に関連する全民間産業が相協調し、原子力委員会の
行う原子力平和利用に関する基本政策の決定に当り民間産業の総意を反映せりと共
に各産業の研究成果を結集し、着しい立進れを示しているわが国の原子力開発を短期
間中重実的、且つ効果的に推進し進めは人間社会の改善と世界の平和と繁栄のため
の原子力産業の発展に先駆的役割を果さねることを切望するものである。

私は、産業界の指導者各位が原子力開発の重要性に意を致され、原子力産業会議設
立の趣旨に賛同され之が実現に御盡力されんことを期待し且つお願いするものである。

民間産業の総意において

c111-006-006